

生かされている

まさか 大地震が起きるなんて
思いもしなかった
まさか 二十秒の揺れで建物が
つぶれるなんて想像もつかなかった
まさか 六千人もの犠牲者が出るのは
あまりにもむごい出来事

平成七年一月十七日に起きたたけなへけんの

「まさか……」
今まで「あたりまえ」の事だと
信じていたいろんなものが
「まさか……」と共に崩れ去り
失くはじめてくれたのが
とれだけ大切なものだったのか
私は身をもって思い知らされた

日を追う毎に恐怖と不安と悲しみが暮り
とれだけ涙を流したことをどう
みんなが必死に家族や友人を思い
多くの人々の温かさにふれて
とれだけ勇気づけられたことをどう

あれから一年が経つとつとつといる現在(いま)
私は「あたりまえ」の生活を送っている
あの時に感じた様々な気持ちも
時の流れと共に少しずつ薄らいで
めまぐるしく日々が過ぎっていく

今 少しでも足を止め
あの日と変わらぬ青空を見上げ
あの時に流した涙の意味を背負い
こうして生きている喜びをかみしめたい
そしてそれは
「生かされている」「いつかたつた」刻み
大切に歩み始めようと思おう

25年前、悲しみとやり場のない憤りにあふれた街、神戸。
それでも私は、神戸の街が好きだ。
「生かされている自分を大切にしたい。」
「一生懸命生きていきたい。」
私にとって1.17は、そんな思いを再確認する日。
高台より神戸の街を望む